

第 6 期広域計画の策定に向けた論点等について

関西広域連合設立から 10 年余りの社会情勢の変化を踏まえ、広域連合が目指すべき姿や役割については、広域連合議会における議論のみならず、広域連合協議会や関西経済連合会などからも多くの提言が寄せられている。

そこで、第 6 期広域計画策定に向けた 3 回目の会議となる今回は、今後の広域連合のバージョンアップを念頭に置き、関係団体から寄せられた提言やこれまでの協議内容、関西及び国内の社会経済状況等を踏まえつつ、次期計画（特に、現計画「第 3 広域連合が目指すべき関西の将来像」に当たる部分）に盛り込むべき内容について、更に議論を深める。

＜論点＞ 第 6 期広域計画のあり方・基本的な枠組みについて

- （１） 関西圏の人口推計を踏まえ、中長期的な課題や未来志向を広域計画にどのように盛り込むか。
- （２） 従前の広域計画をどのように評価し、その結果見いだされた課題について、次期広域計画にどのように反映させるか。
- （３） 国・府県・市町村という異なる主体に対して、広域連合の果たすべき役割は何か。

＜想定される主要なテーマ＞

- （１） DX の推進
- （２） 新しい分散・分権型社会の実現、東京一極集中の是正に向けた取組
- （３） 「2025 年大阪・関西万博」のレガシーを継承するための取組
- （４） SDGs2030 年目標の達成に向けた取組
- （５） 2050 年カーボンニュートラルの実現に向けた取組
- （６） 潜在化する社会課題（貧困、教育や医療の格差、雇用問題等）への対応
- （７） ダイバーシティ&インクルーシブな社会の実現
- （８） 「世界の中の関西」として目指す姿